

SSST-R40 型 軽量スチールスライドドア

SSSU-R40 型 軽量ステンレススライドドア

油圧自閉（パネル納まり）

取付け要領書

⚠ 注意事項

- ・ 施工する前のドアや枠材は直射日光の当たらない場所へ保管して下さい。
保管の際は、長時間の横積み状態はなるべく避けて下さい。ドアやパネルが反ってしまう恐れがあります。
- ・ 持ち手や引き手にぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険ですし、持ち手等が正常に機能しなくなる恐れがあります。
- ・ 錠前は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。
- ・ 錠つきの場合、ラッチを出したままドアの開閉をしないでください。ラッチに当りケガをしたり、錠受けが破損する原因となります。
- ・ ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなります。
- ・ 扉を吊る前に、表面材の養生シートを“剥がして”おいてください。特に裏側については、吊り込み後には大変“剥がし難い”状態になります。
- ・ レールおよびレールベース取付けの際に発生する切粉は、吸引やエアブローなどで完全に除去してください。
- ・ 掃除の際には柔らかい布やスポンジなどを使い、金属タワシや金ペラなどの使用は避けてください。
- ・ 金属ヘラやタワシなどで擦ると、表面のアルマイトが傷つき、腐食の原因になります。また、塩分・酸・アルカリなどが付着すると腐食の原因になりますので、すぐにふき取ってください。

09702-A0F-009-01

サンワイズ株式会社

〒424-0204 静岡県静岡市清水区興津中町848
TEL 054-360-3222 FAX 054-360-3227

URL <https://www.sunwizz.co.jp/>

目 次

全体構成について

1. 構成部品および名称（片引）	1
2. 構成部品および名称（両引）	1

工事手順について

1. 開口枠の取付け	2
2. レールベースの取付け（片引）	4
2. レールベースの取付け（両引）	5
3. ガイドブロックの取付け	6
4. ドアの吊込みおよび高さ調整	7
5. チェーンブラケットの取付け	8
6. 油圧クローザの調整	9
7. ストッパーの位置固定	9
8. レールカバーの取付け	10
8. レールカバーの取付け（カバー分割時）	11

オプションについて

1. サニタリーカバーの取付け	12
2. シリンダー / サムターンの交換方法（美和 FG錠）	13
2. シリンダー / サムターンの交換方法（ゴール SX錠）	14

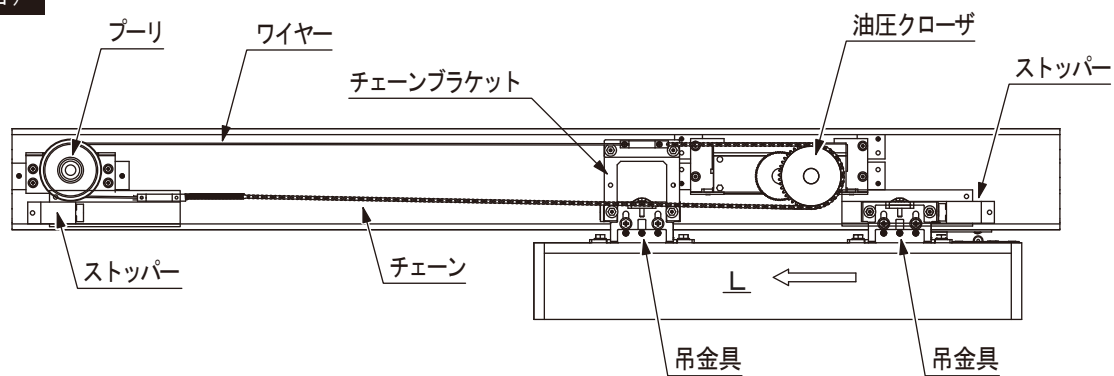
その他

1. 両引きのセンター調整処理	15
-----------------	----

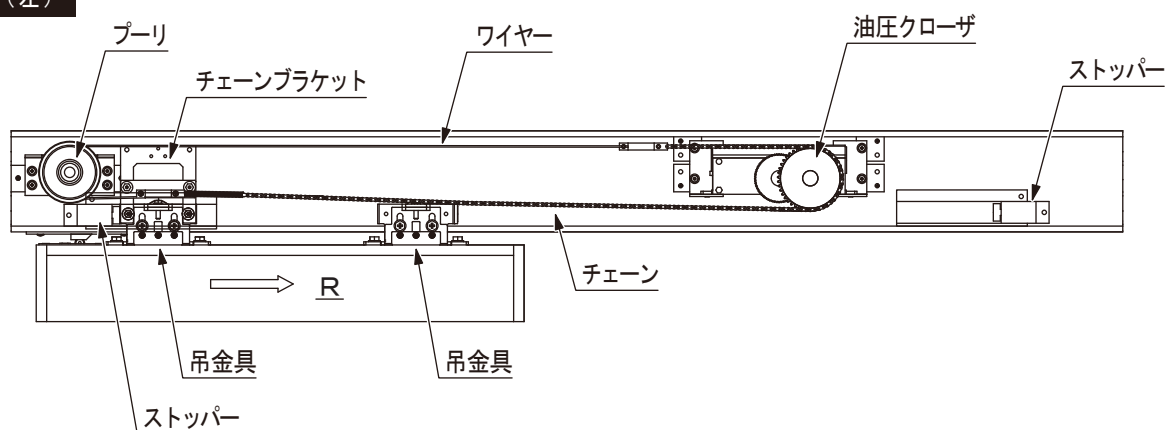
全体構成について

1. 構成部品および名称（片引）

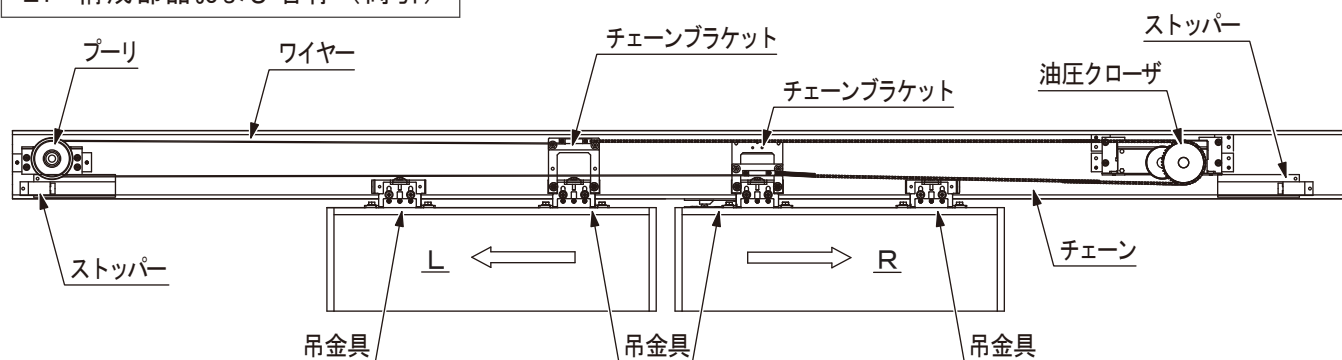
片引（右）



片引（左）



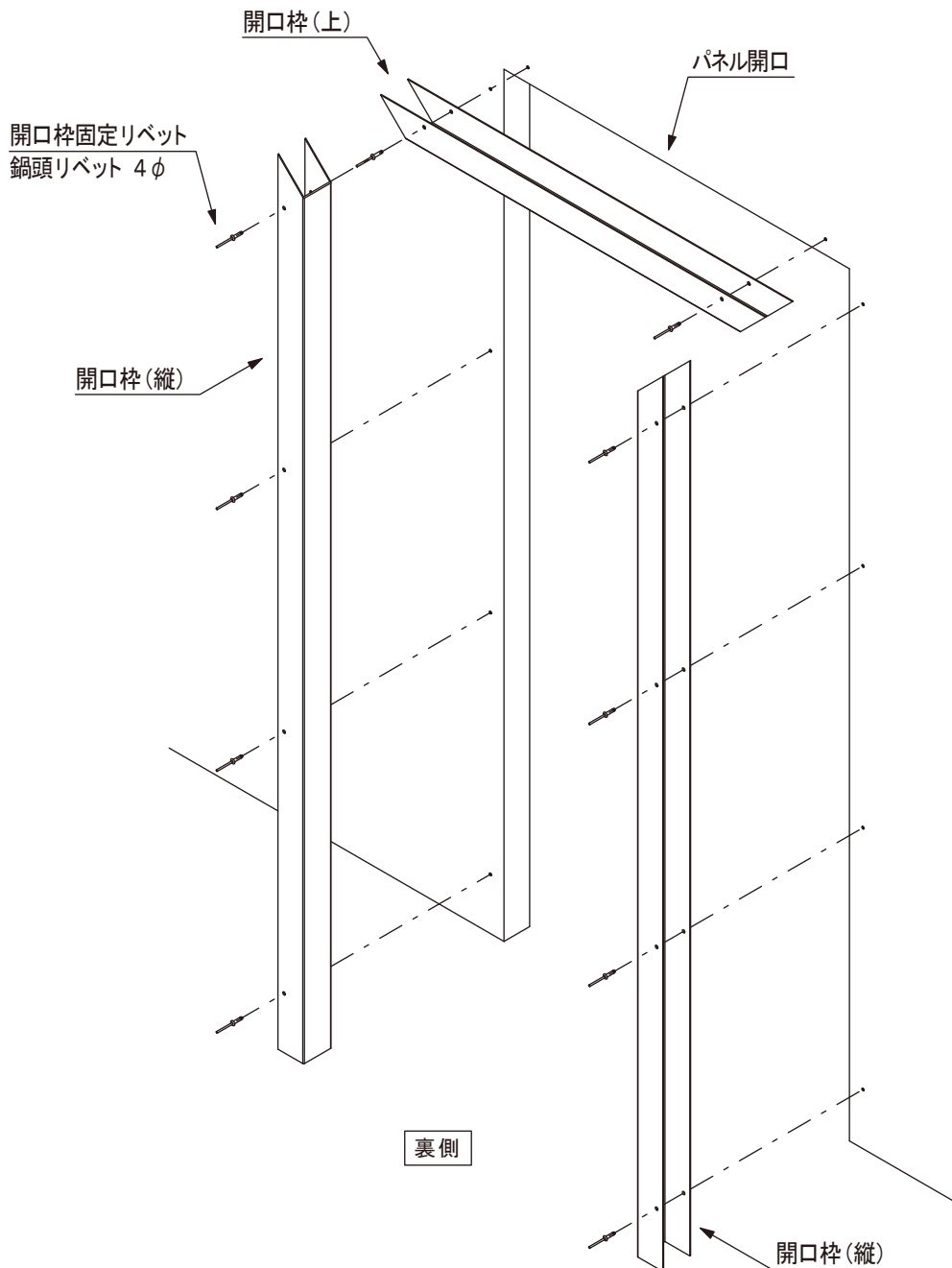
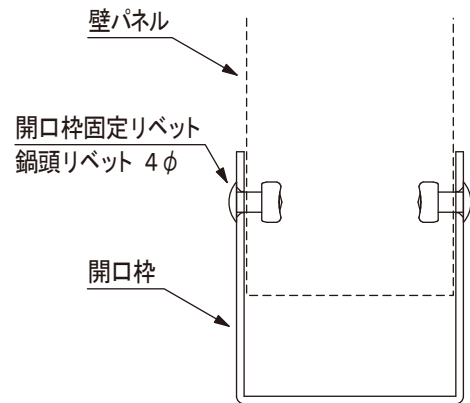
2. 構成部品および名称（両引）



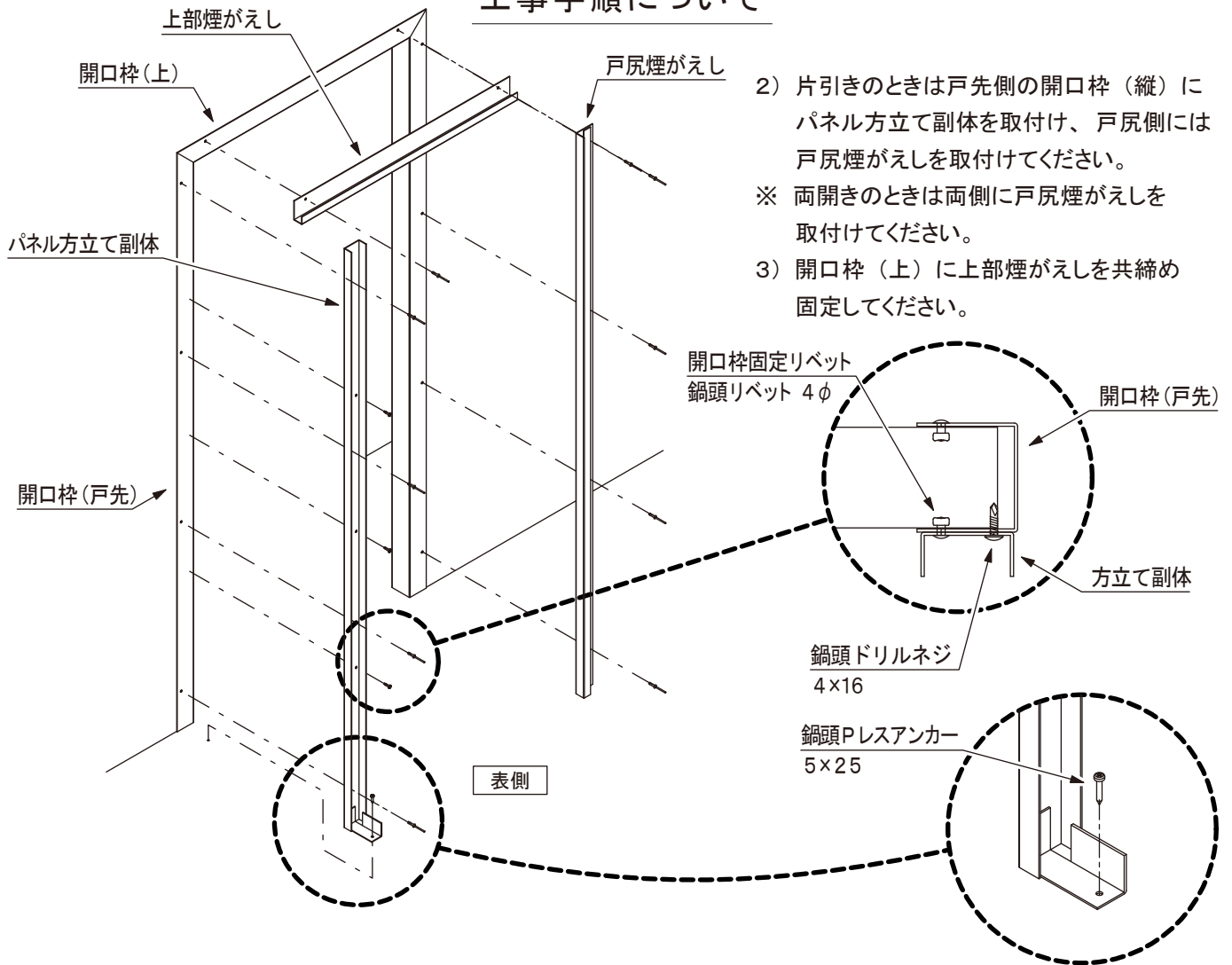
工事手順について

1. 開口枠と各部材の取付け

- 1) 開口枠（上・縦）をパネル開口部に嵌め込み、
W・H寸法に注意しながら裏側からリベットで
固定してください。
※ 表側は共締め部材と一緒に固定します。

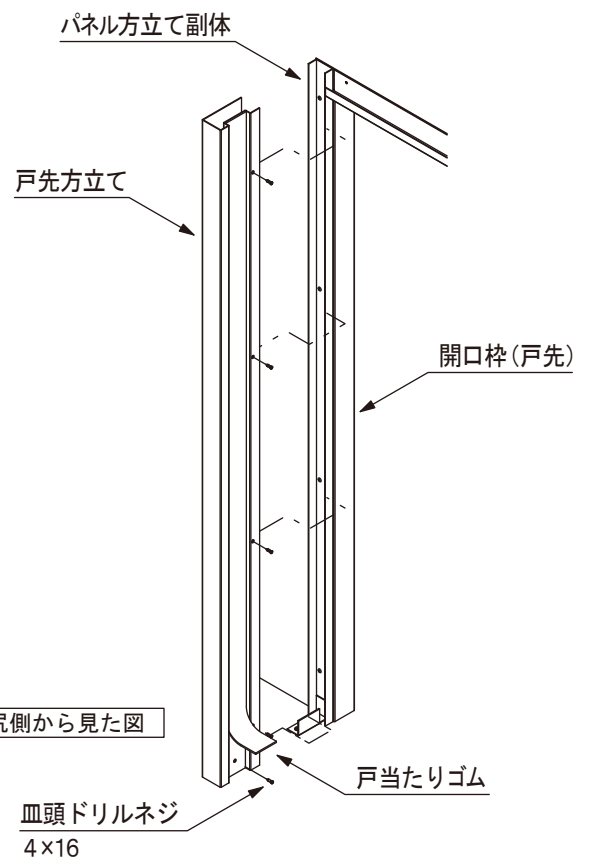
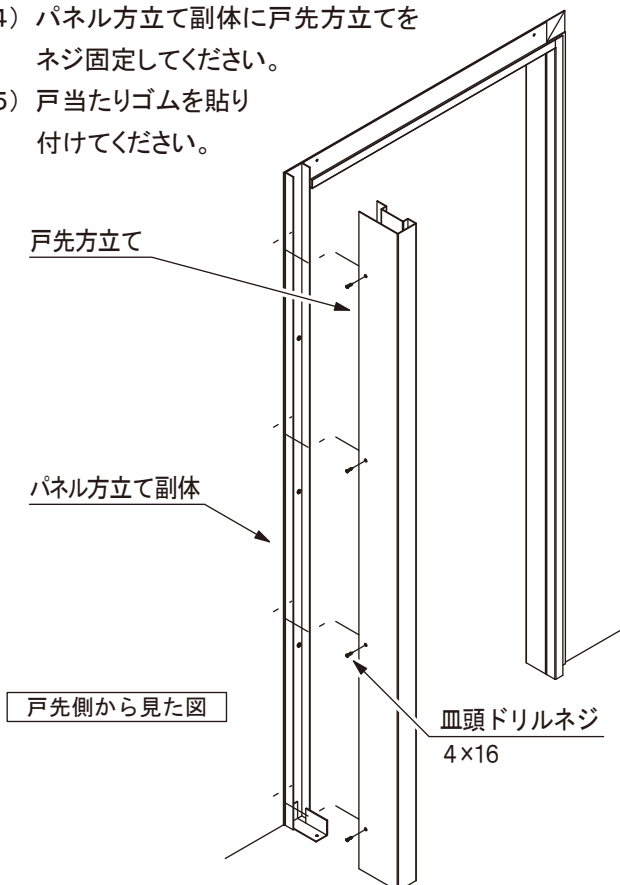


工事手順について



【※ 4 と 5 は片引きのみ】

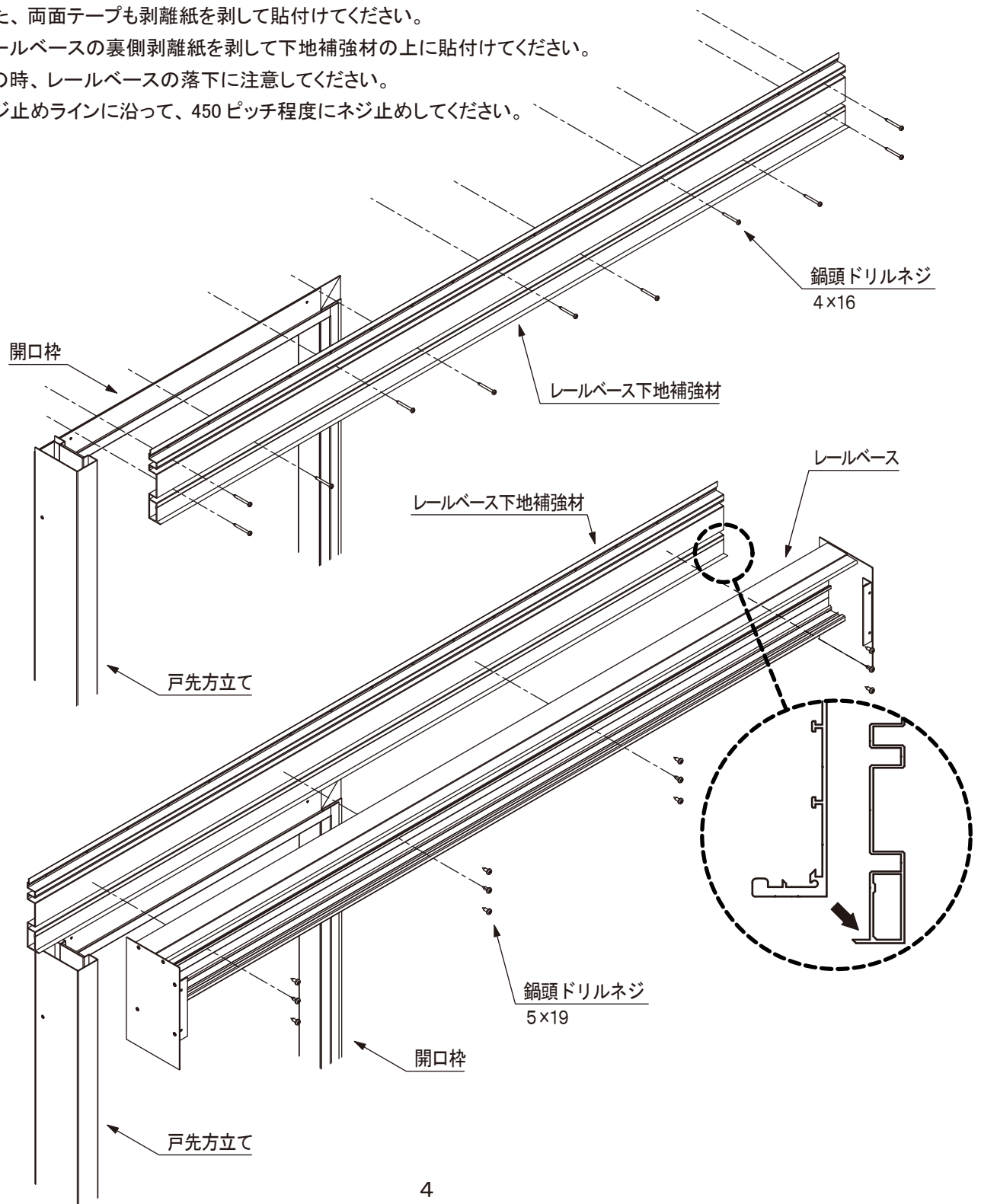
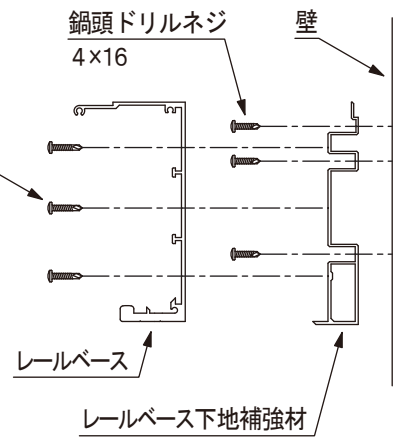
- 4) パネル方立て副体に戸先方立てをネジ固定してください。
- 5) 戸当たりゴムを貼り付けてください。



工事手順について

2. レールベースの取付け（片引き）

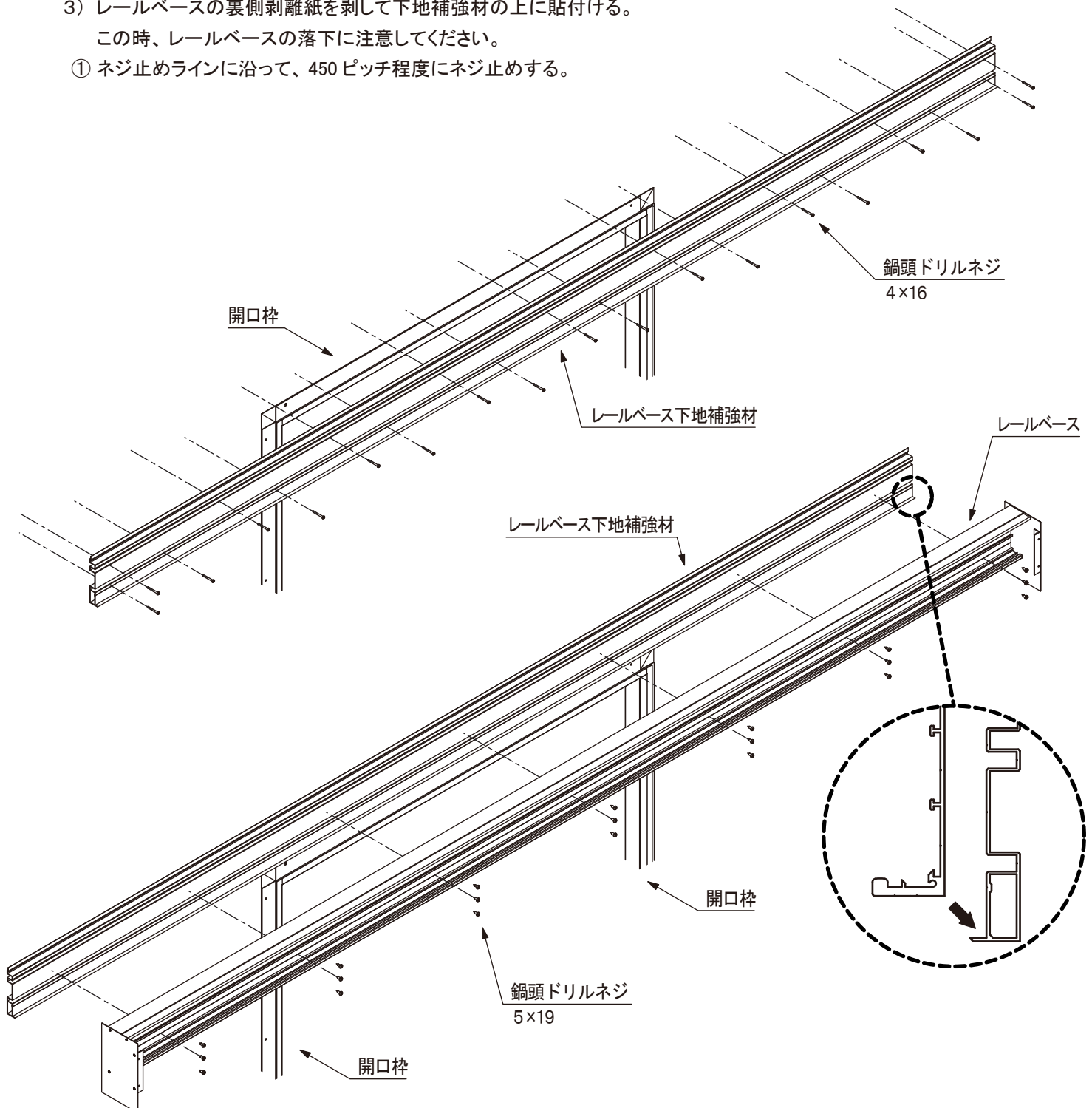
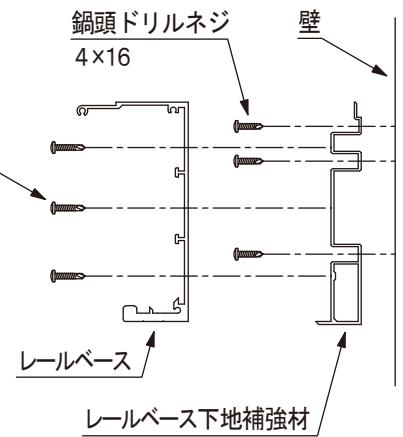
- 1) 下地補強材の取付け位置を壁パネルに印する。取付け位置は必ず施工図面で確認してください。“錠受け”がずれて錠に係らなくなることがあります。また、必ず水平になるように注意してください。
- 2) 下地補強材の裏側剥離紙を剥して貼付けた後、上方 200 ～ 300 ピッチ程度に“鍋頭ドリルネジ”で固定してください。
※ この固定を省略すると、レールが脱落するので注意してください。
また、両面テープも剥離紙を剥して貼付けてください。
- 3) レールベースの裏側剥離紙を剥して下地補強材の上に貼付けてください。
この時、レールベースの落下に注意してください。
① ネジ止めラインに沿って、450 ピッチ程度にネジ止めしてください。



工事手順について

2. レールベースの取付け（両引き）

- 1) 下地補強材の取付け位置を壁パネルに印する。取付け位置は必ず施工図面で確認してください。“錠受け”がずれて錠に係らなくなることがあります。また、必ず水平になるように注意してください。
- 2) 下地補強材の裏側剥離紙を剥して貼付けた後、上方 200 ～ 300 ピッチ程度に“鍋頭ドリルネジ”で固定してください。
※ この固定を省略すると、レールが脱落するので注意してください。
また、両面テープも剥離紙を剥して貼付けてください。
- 3) レールベースの裏側剥離紙を剥して下地補強材の上に貼付ける。
この時、レールベースの落下に注意してください。
① ネジ止めラインに沿って、450 ピッチ程度にネジ止めする。



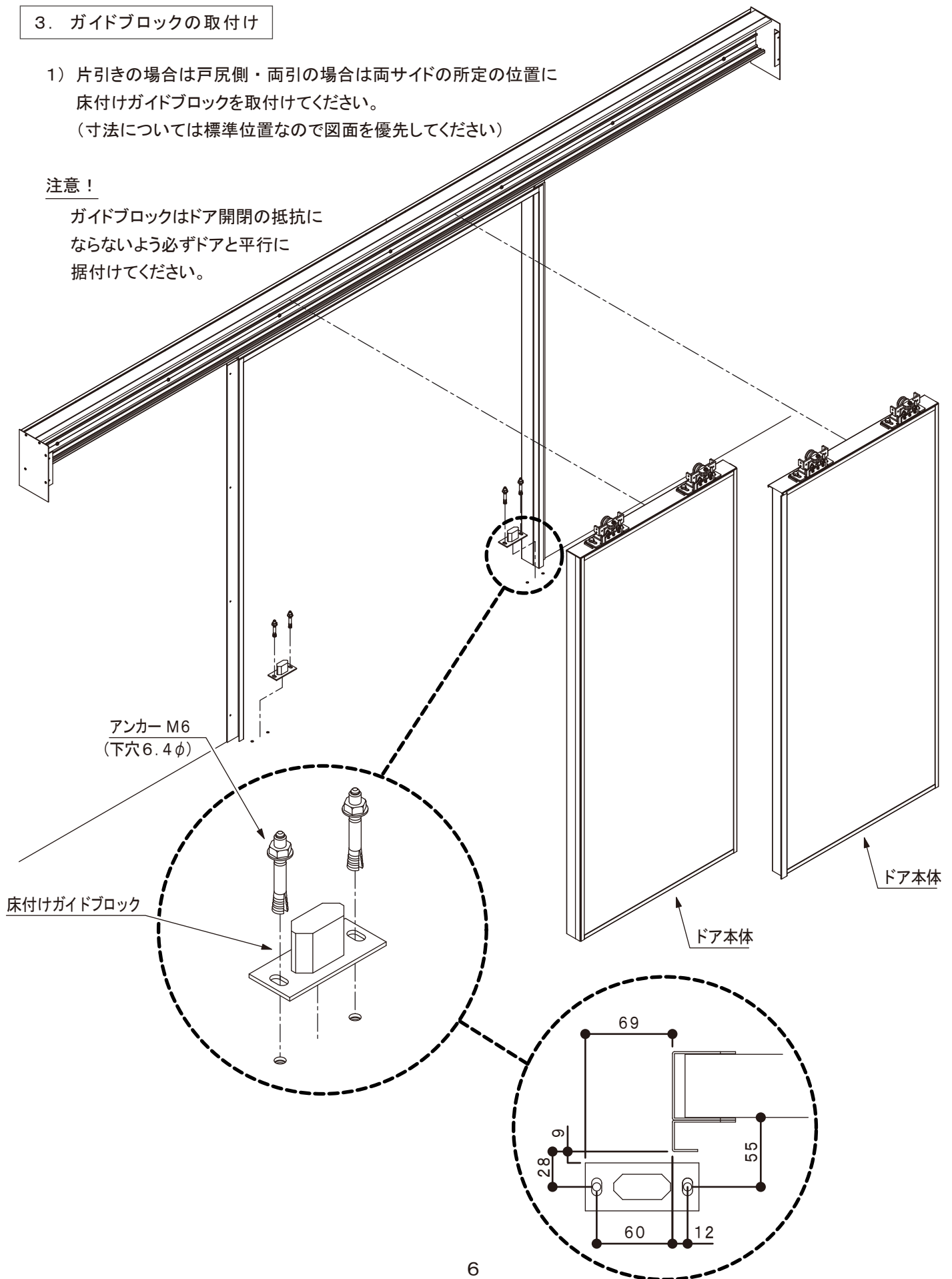
工事手順について

3. ガイドブロックの取付け

- 1) 片引きの場合は戸尻側・両引の場合は両サイドの所定の位置に
床付けガイドブロックを取付けてください。
(寸法については標準位置なので図面を優先してください)

注意！

ガイドブロックはドア開閉の抵抗に
ならないよう必ずドアと平行に
据付けてください。



工事手順について

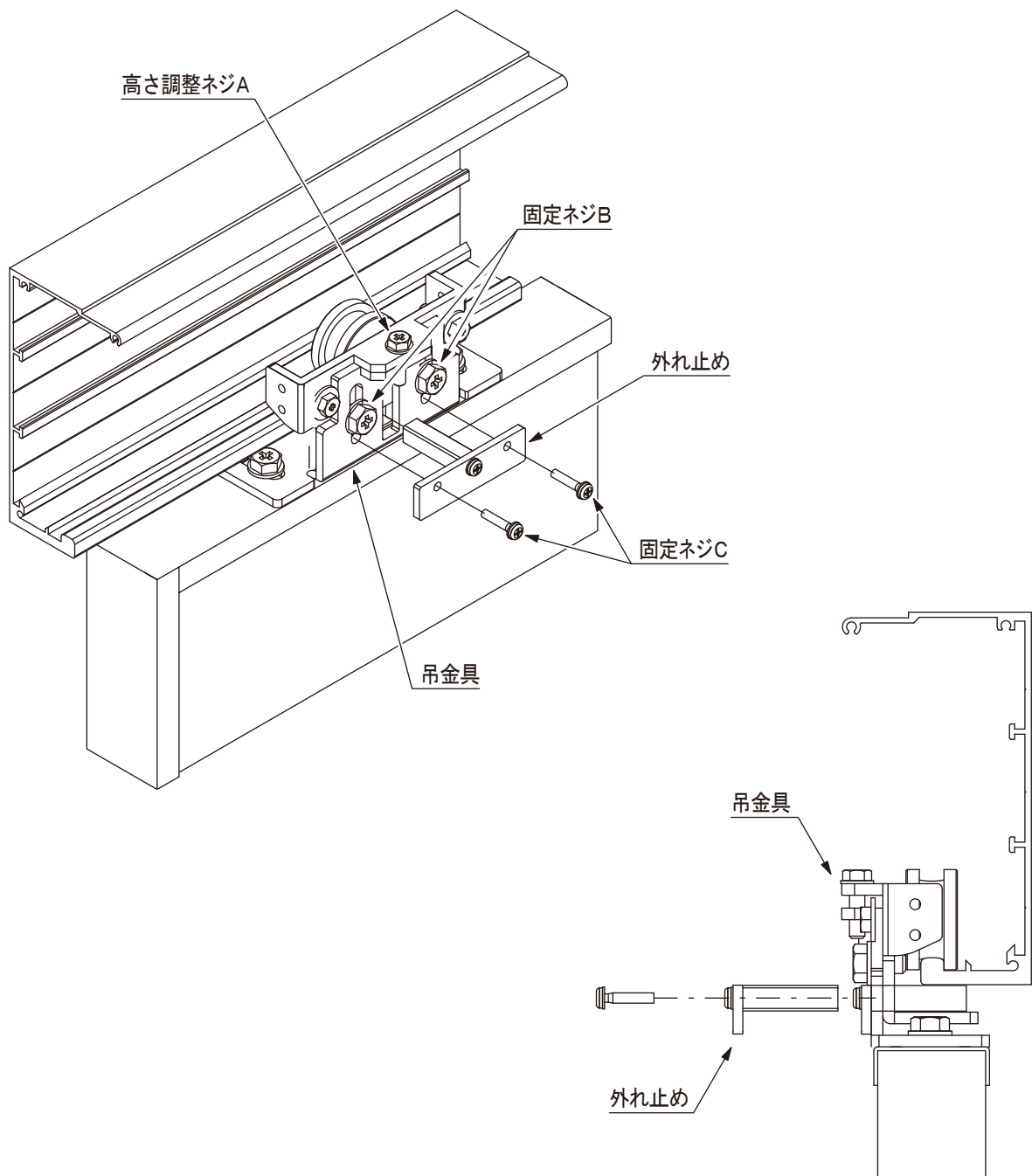
4. ドアの吊込みおよび高さ調整

ドアの吊込み

- 1) 吊金具から固定ネジCを緩めて「外れ止め」を外し、ドアを正面から吊込んでください。
- 2) 外れ止めを元の位置に取付けて、固定ネジCで固定します。

高さ調整

- 1) 吊金具の固定ネジB・Cを緩めてドアと床の隙間を高さ調整ネジAで調整します。
(従来必要としていた「外れ止め」の調整は不要です。)

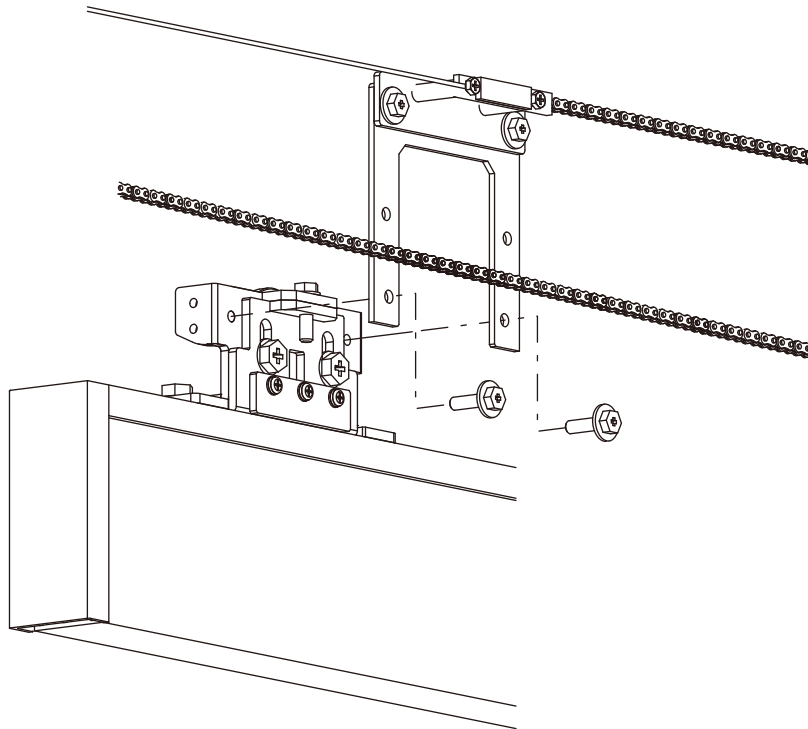


工事手順について

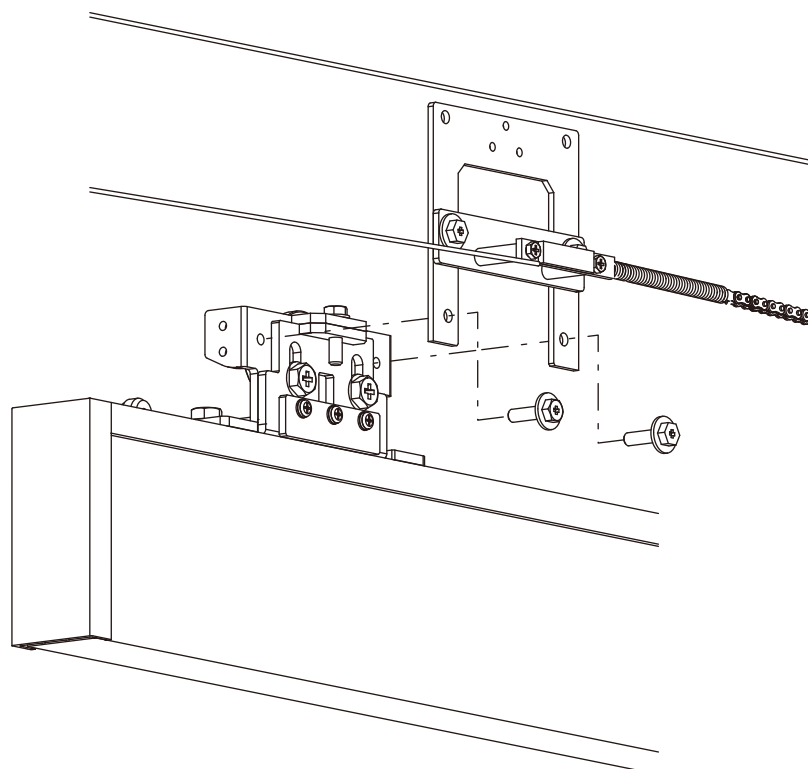
5. チェーンブラケットの取付け

- 1) 吊金具に取り付けてあるボルトでチェーンブラケットを固定してください。

片引（左）



片引（右）



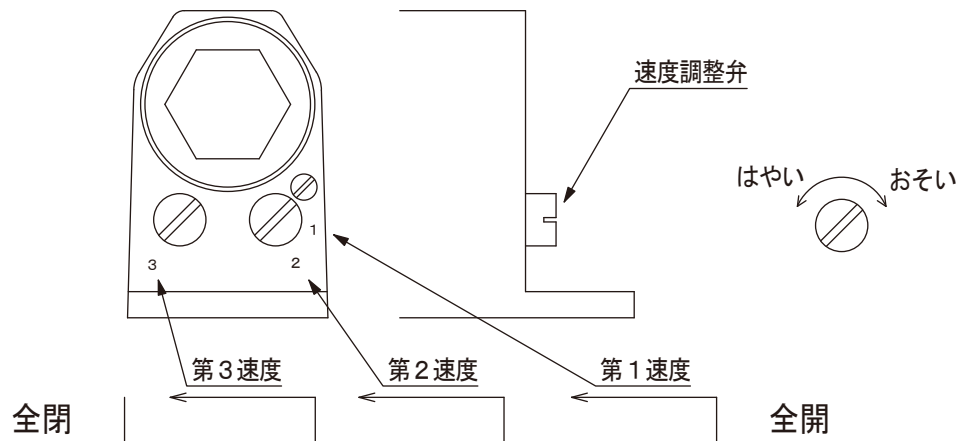
工事手順について

6. 油圧クローザの調整

油圧クローザの調整ネジによってドアの開閉速度を調整することができます。

ただし、標準速度（6～10 秒）を守ってください。

- 1) 左へ廻しすぎると閉じる速度が速くなりすぎて、閉じるドアに当ってケガをするおそれがあります。
- 2) さらに左に廻しすぎると抜け落ちて本体内部の油が噴出して目に入ったり衣服や壁・床などを汚すおそれがあります。

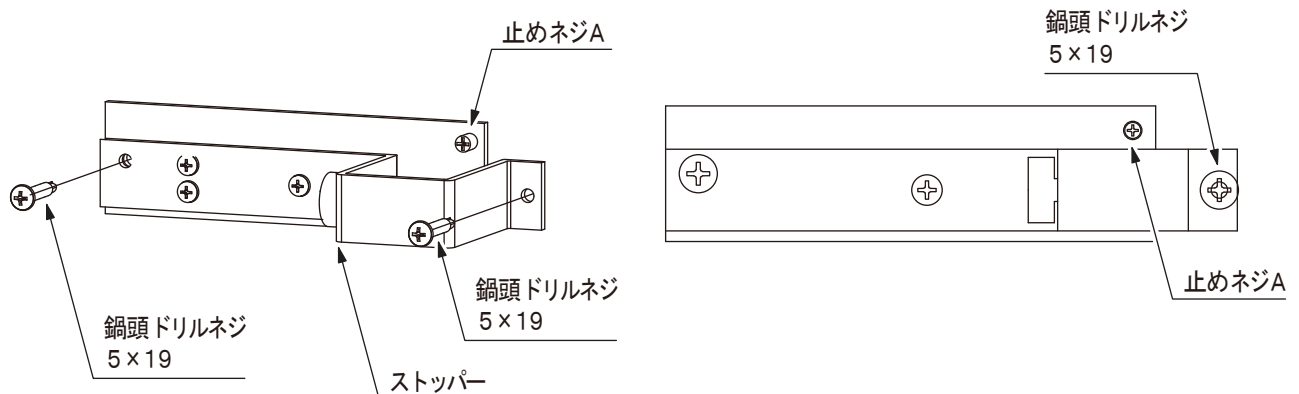


※ ご了承ください

油圧クローザ本体において、第2～3速度の変化点には個体差があります。

7. ストッパーの位置固定

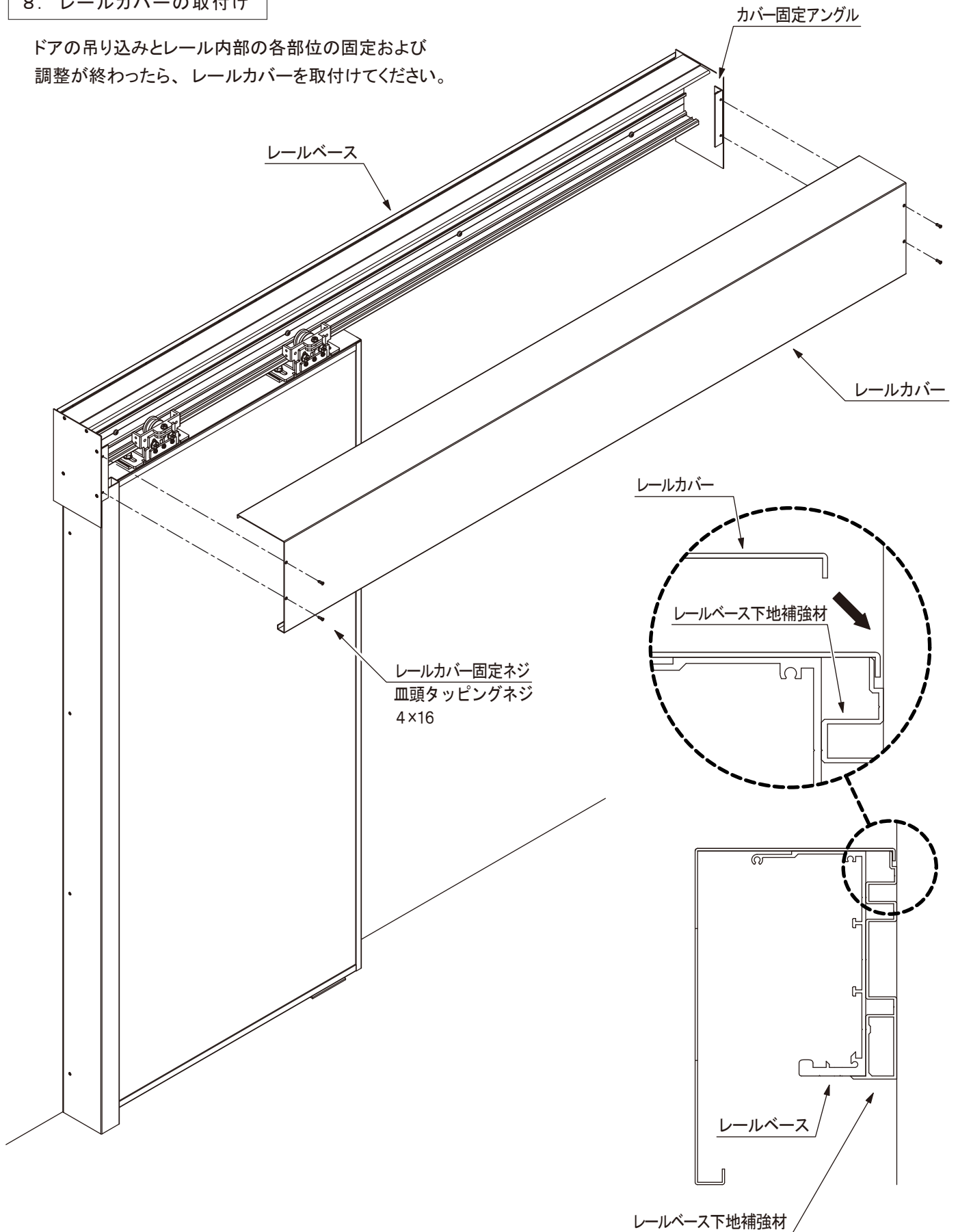
- 1) ストッパーにはドア全開時及び全閉時の戸当りならびにドアキャッチの役割があります。出荷時の位置が標準位置となりますが、取付け時に改めて調整をおこなってください。（止めネジ A を緩めると移動可能）
最終位置が決まったらドリルネジで固定します。



工事手順について

8. レールカバーの取付け

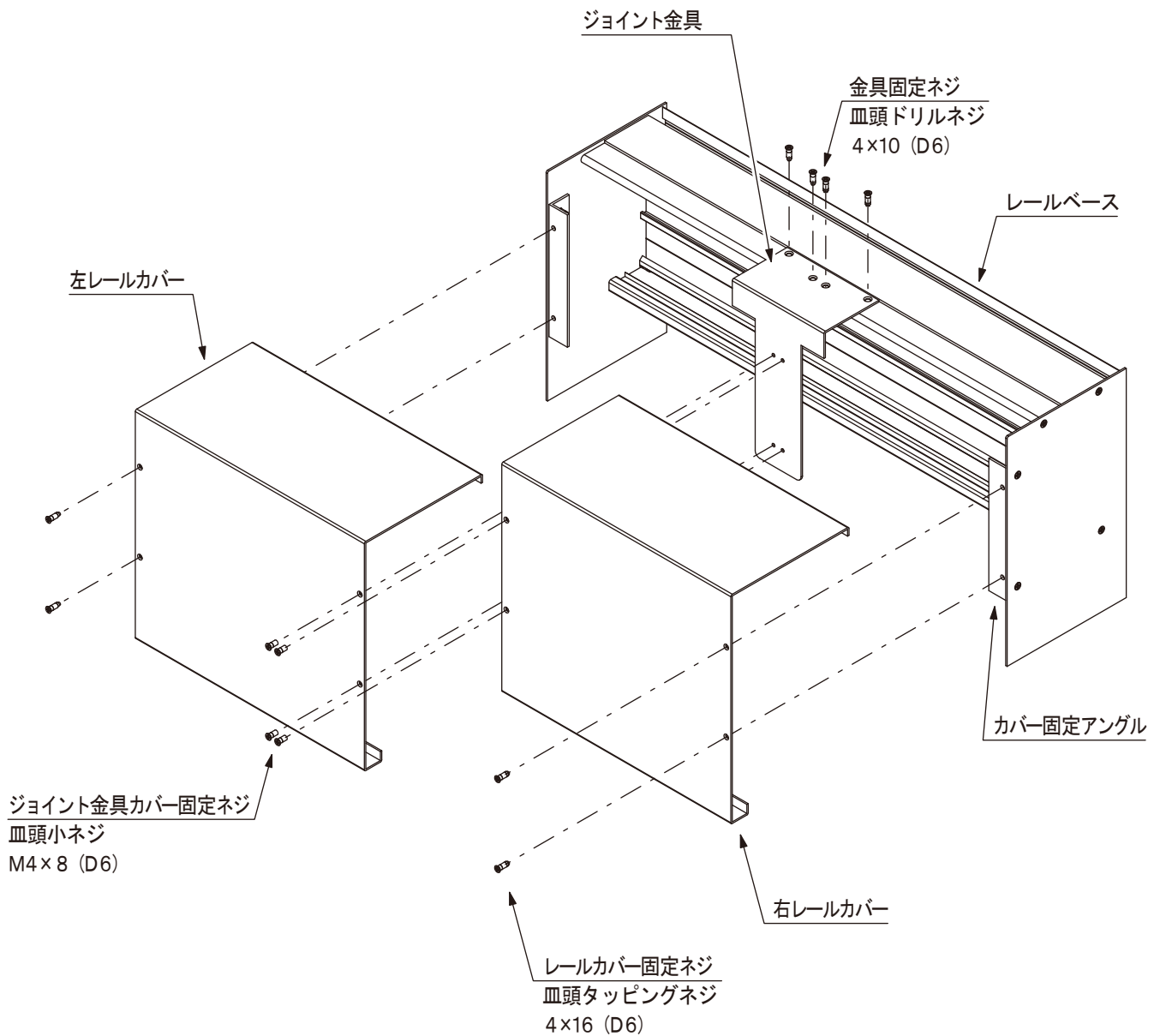
ドアの吊り込みとレール内部の各部位の固定および調整が終わったら、レールカバーを取付けてください。



工事手順について

8. レールカバーの取付け（カバー分割時）

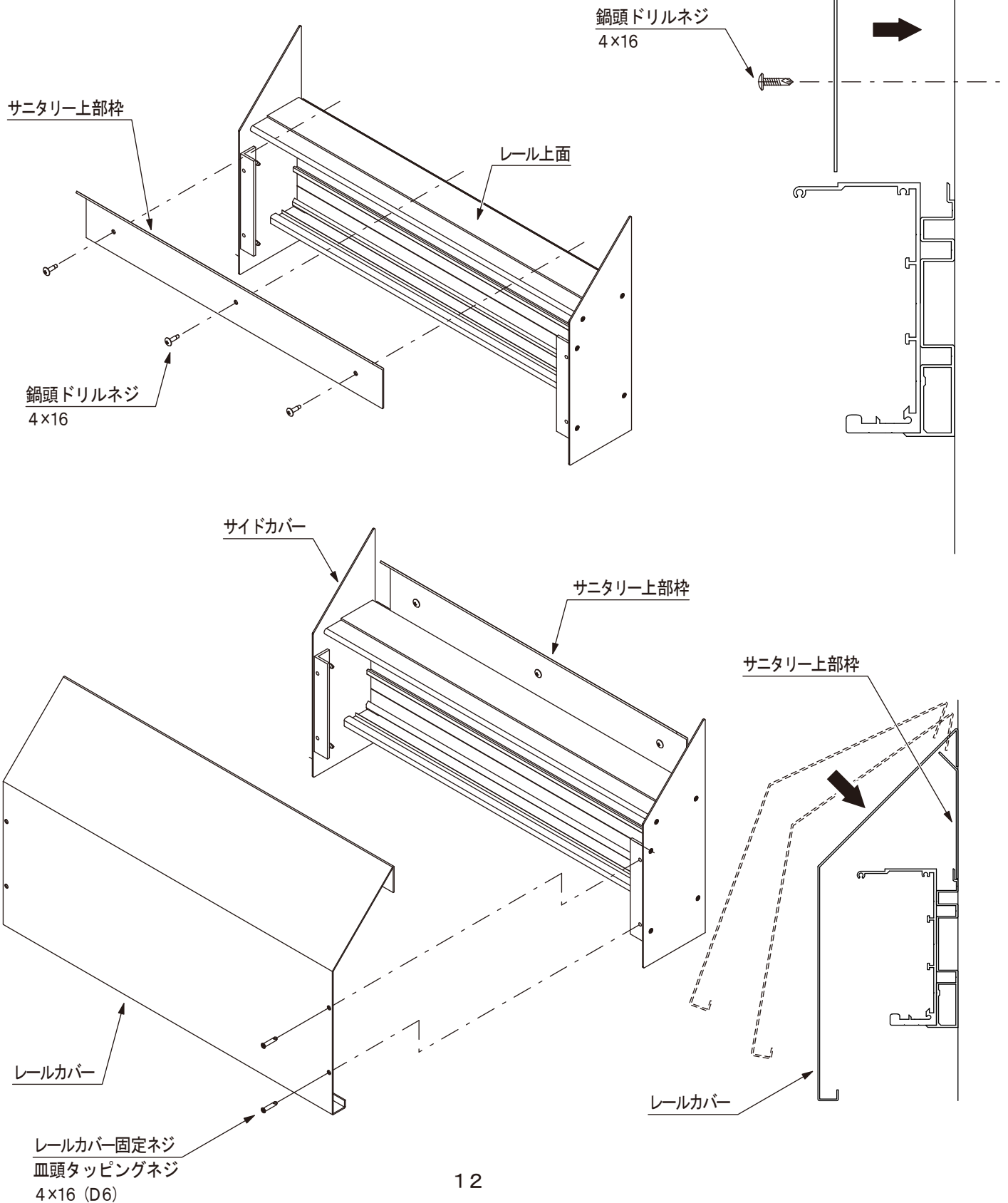
- 1) ジョイント金具を配置してください。
 - ① 片引きのときは、レールベース中央にジョイント金具を配置してください。
 - ② 両引きのときは、左右のレールベースの繋ぎ目にジョイント金具を配置してください。
- 2) レールカバーをジョイント金具とサイドカバー、レール上面にネジで固定してください。
※ ジョイント金具には皿頭小ネジ、サイドカバーには皿頭タッピングネジを使って固定してください。



オプションについて

1. サニタリーカバーの取付け

- 1) サニタリー上部枠の下部をレール下地補強材上部の壁との隙間に差込み、ドリルネジで壁に固定してください。
- 2) レールカバーをサニタリー上部枠に差込んで、レールカバーの両端をサイドカバーにネジ止めしたら終了です。



オプションについて

2. シリンダー／サムターンの交換方法（美和ロック FG錠）

1) まず、シリンダーにキーを差し込み、解錠状態にしてからフロント固定ネジを外します。

2) フロントを外すとシリンダー止めピンが見えます。
シリンダー止めピンを引き抜きます。
ピンは表・裏2本あるので外したい方にあるピンをマイナスドライバー等を使って引き抜いてください。

※ シリンダー止めピンを引き抜くときにシリンダー／サムターンが落下しやすいので、手で押さえながら引き抜いてください。

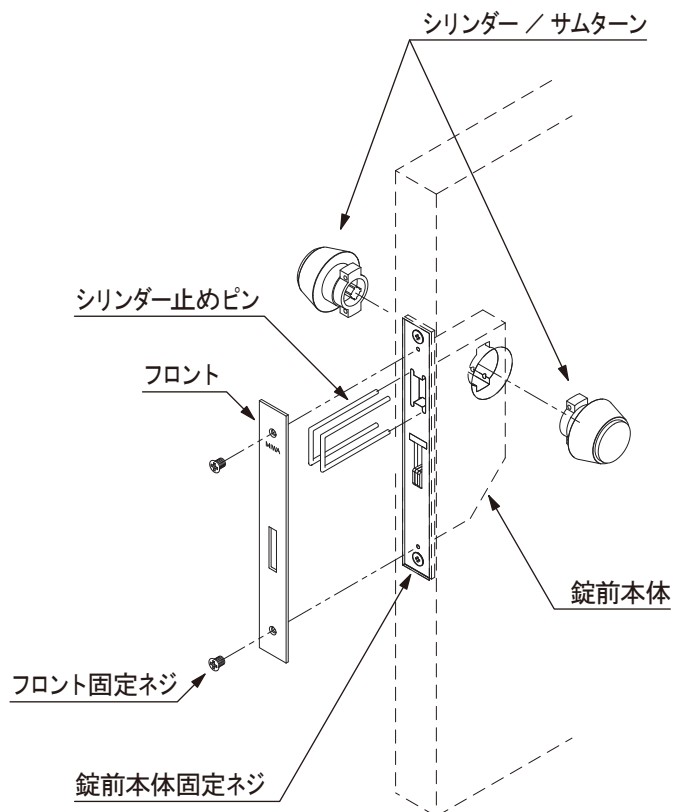
3) シリンダー／サムターンを引き抜いてください。

4) 新しいシリンダー／サムターンをMIWAの刻印を上にしてケースの穴に挿入し、シリンダー止めピンを奥まで差し込み固定します。

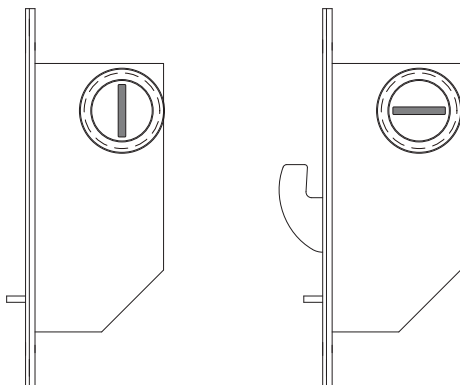
※ この時サムターンはツマミが垂直になるように取付けてください。固定ネジを緩める必要はありません。

5) シリンダー／サムターンが正常に作動するか確認して再びフロントを取付けて作業終了です。

※ シリンダー／サムターン交換の場合は錠前本体の固定ネジを緩める必要はありません。



※ サムターンの摘みの向き



解錠時は垂直

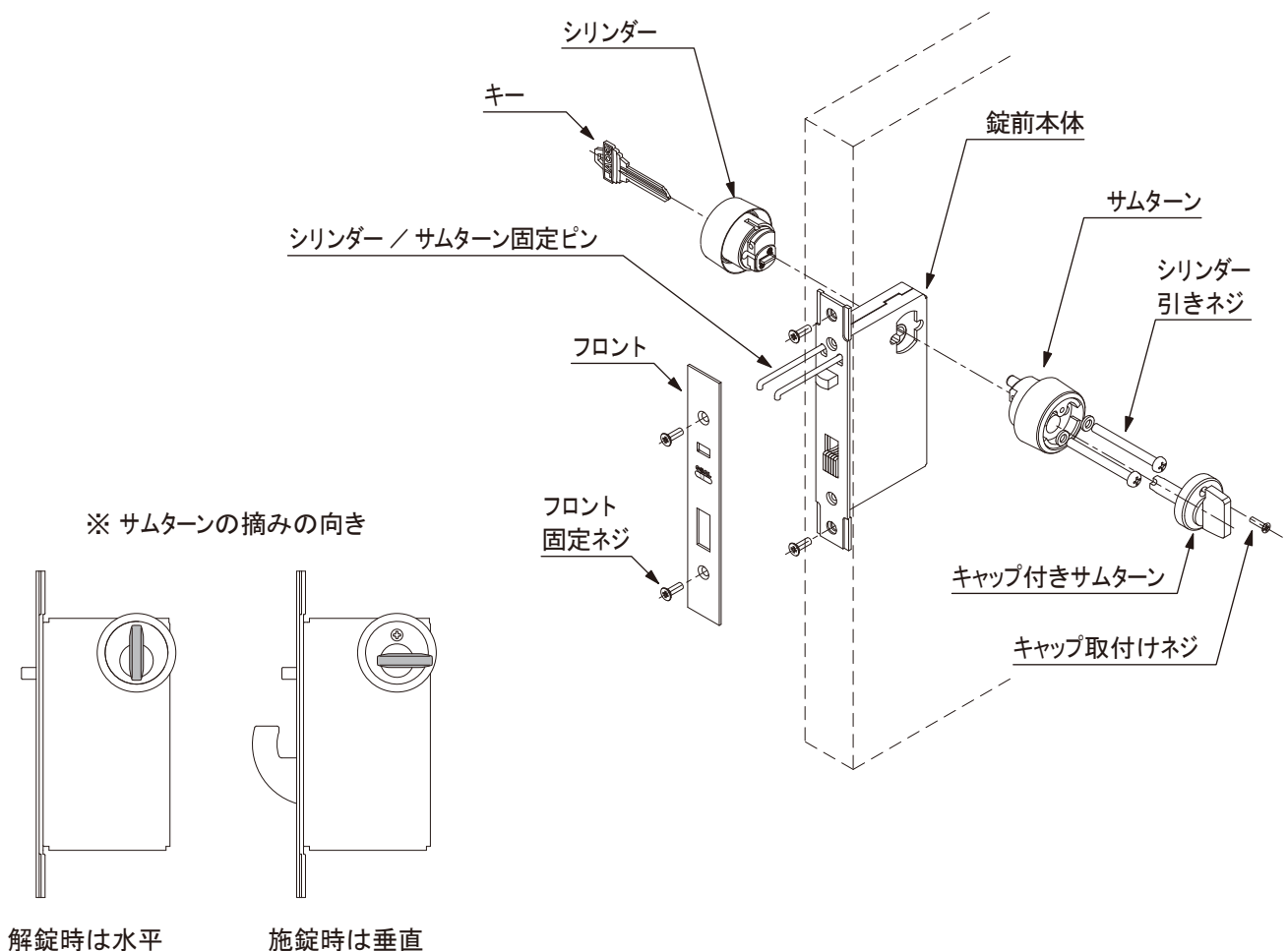
施錠時は水平

オプションについて

2. シリンダー／サムターンの交換方法（ゴール SX錠）

- 1) まず、解錠状態にしてからフロント固定ネジを外します。
- 2) フロント外します。
- 3) サムターンのキャップ取付けネジを外し、キャップ付きサムターンを取外します。
- 4) シリンダー引きネジを外し、サムターン側の固定ピンを外した後、サムターンを引き抜いてください。
- 5) シリンダー側の固定ピンを外し、シリンダーを引き抜いてください。
- 6) 新しいシリンダー／サムターンを取り外したときの逆の手順で組み込んでください。
（このときシリンダーはキーを抜いた状態で取付けてください。サムターンは摘み部が、解錠時に縦向きになるように取付けてください。）
- 7) シリンダー／サムターンが正常に作動するか確認して再びフロントを取付けて作業終了です。

※ シリンダー／サムターン交換の場合は錠前本体の固定ネジを緩める必要はありません。



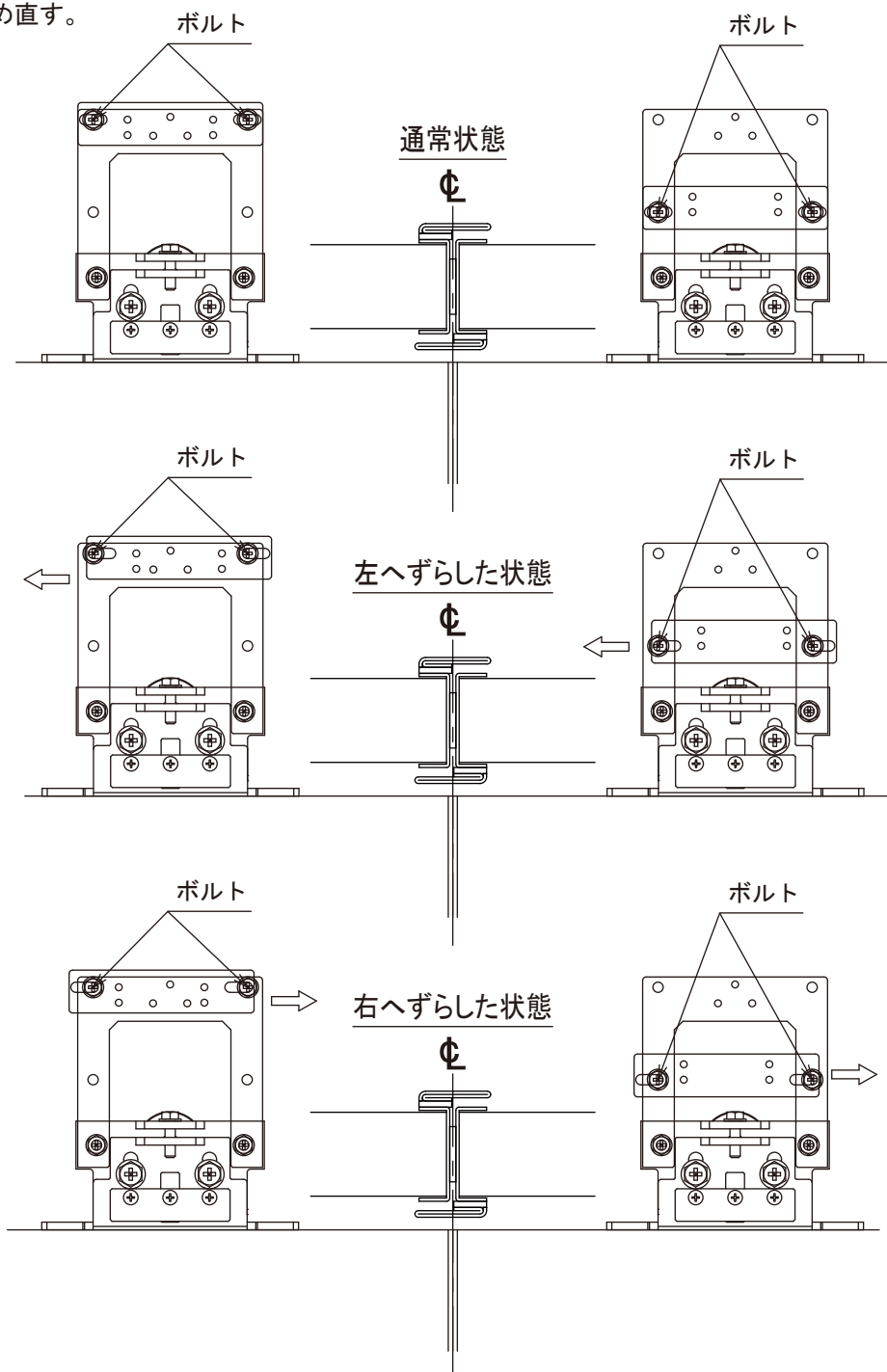
その他

1. 両引きのセンター調整処理

両引き扉のセンターがずれている場合には、以下の手順で調整してください。

調整幅は左右とも5mm までずらすことができます。

- 1) ボルトを緩める。
- 2) 左右の扉をずらす。
- 3) ボルトを締め直す。



MEMO

This image shows a full page of white paper designed for handwriting practice. It features 20 evenly spaced, horizontal dashed lines that run across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

MEMO

[illegible]

〒424-0204 静岡県静岡市清水区興津中町848
TEL 054-360-3222 FAX 054-360-3227

URL <https://www.sunwizz.co.jp/>